



# 学校だより

～創立133周年～

## 心をこめて伝えたい、「あいさつ」と「ありがとう」

校長 大塚 雅之

日ごと肌寒さを感じる季節となつてまいりました。先日の校内音楽会では、制限下ではございましたが、感染症対策に御理解・御協力のもと、御来校いただきありがとうございます。たくさんの方々に観ていただき、子どもたちは一生懸命な姿で発表をすることができました。

さて、11月は「心を潤す4つの言葉」推進週間を設定するなどして、日々推進を図る取組を実施してまいりました。登下校のときや、校内各所、廊下等で出会うと、明るく、素敵なあいさつをする子がたくさんいます。その度に「あいさつ（してくれて）ありがとう」という気持ちになります。日常生活において、基本的な生活習慣のもととなる「あいさつ」「感謝の気持ち」を自然に交わし合うことで、生活が潤い、人とのかかわり合いも、活動も充実します。

先日、ある子どもから、「いつもありがとうございます」という言葉をいただきました。何のことを指して発した言葉か分かりませんが、なんだかとても嬉しい気持ちになり、逆にこちらこそ「ありがとう」という感謝の気持ちが生まれました。あちこちから「ありがとう」の言葉が聞こえてくることは何と素晴らしいことでしょうか、心が温かくなります。

学校生活の柱として、自分自身の思いを大切に伝えてきたこと、それは、「あいさつと感謝の気持ちは、生活の基本の中の基本」ということ、そして、「あいさつ」と「ありがとう」の頭文字を使って次のように作文してよく話したものです。

### あいさつ

あ：相手の方を見て、明るく元気に

さ：先に進んで、さわやかに

い：いつでも、どこでも、だれにでも

つ：続けることで、つなぐ絆（きずな）

### ありがとう

あ：相手を思い合い

り：理解し合い

が：頑張っている姿をたたえ合い

と：どんなことにも感謝

う：嬉しい気持ち

このように文字を当てはめていくと、より具体的な目標が見えていきます。「おかげさま」「おたがいさま」を心において、様々な場面を通して実現できるよう、続けていくことが大切です。日常生活の中で、尊重し合い、互いに交わし合えれば、人間関係も良好になり、トラブルも減っていくでしょう。温かな気持ちで生活が充実していくことと信じ、それを願っています。

現在、新規感染者数が減少し、日々の生活において制限も徐々に緩和され始めました。こうなると気持ちや行動がやや緩みがちになりますが、この時期こそ大切に考え、油断せず、これまで同様に感染症対策を十分に行っていく必要があります。新たな変異株も話題になり始めました。学校でも、引き続き手洗い、うがい、消毒、換気等を徹底し、安全・安心で充実した学校生活を送れるように教育活動等を進めてまいります。今後も、目的や感染拡大防止の観点を踏まえた上で学校行事等を計画、準備し、実施してまいります。状況によって急な変更もありえますが、引き続き、保護者、地域の皆様、御理解と御支援、御協力の程よろしくお願ひいたします。